

# 動物生態学

## (授業概要・目的)

動物園の飼育者は、飼育対象の動物以外に餌生物や飼育環境下に生息する多くの動物の知識が求められる。生物の生存するために必要な行動は、種は違えども多くの種で共通する。本講義では昆虫からほ乳類、植物など幅広く紹介しながら、動物の生態を解説する。

科	生命科学科	教員	佐崎 順
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

- ・地球上に生息する生物の形態学的、生態学的、生理学的特徴を理解する

### 後期

- ・生物と環境、生物と生物同士の関係について理解
- ・自然環境下での生態を理解したうえで、ペットを含めた飼育動物の生態を理解する
- ・一部の学生が2年次に動物園コースに転コースをしても、授業についていけるようにする

## 授業計画

- 1回 動物生態学とは、生物の名前（和名、英名、地方名、学名）
- 2回 生物の分類①（分類の方法、階級、種、）
- 3回 生物の系統①（原核生物、原生生物とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 4回 生物の系統②（菌界、植物界とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 5回 生物の系統③（植物界とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 6回 生物の系統④（動物界とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 7回 生物の系統⑤（動物界とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 8回 生物の系統⑥（動物界とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 9回 生物の系統⑦（動物界とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 10回 生物の系統⑧（動物界とは：特徴、具体例、生物分類4級レベル）
- 11回 ネコ科生物の進化について
- 12回 生態系とは（バイオスフィア実験からみる生態系）
- 13回 生物群集とは（食物連鎖、食物網）
- 14回 生物と環境①（作用：グロージャーの法則）
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験の振り返り
- 17回 生物と環境②（作用：ベルクマンの法則）
- 18回 生物と環境③（作用：アレンの法則）
- 19回 生物と環境④（気温と生物の関係～動物～）
- 20回 生物と環境⑤（気温と生物の関係～ヒト～）
- 21回 生物と環境⑥（適応放散、収斂進化）

- 22回 生物と環境③（反作用）
- 23回 生物と環境④（相互作用：種内競争、種間競争、植物）
- 24回 生物と環境⑤（相互作用：植物、動物、干渉作用）
- 25回 生物と環境⑥（相互作用：動物、なわばりと行動圏）
- 26回 生物と環境⑦（相互作用：動物、なわばりと行動圏）
- 27回 本試験テスト対策①（過去問の振り返り、確認）
- 28回 本試験テスト対策②（過去問の振り返り、確認）
- 29回 本試験の解答と解説
- 30回 擬態と擬装について（種内競争：眼状紋、制服擬態）
- 31回 擬態と擬装について（偽物型擬態、攻撃擬態）
- 32回 異種間との関係（共生：相利共生、片利共生、片害）
- 33回 異種間との関係（中立、寄生）、生態系における異種間との種間関係の意義
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験の振り返り

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

具体例を用いて講義する

きょうざい  
教材・

生物図表、授業内で配布するプリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

授業だけではなく、身近な自然、生物に関心を持って観察する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

生物分類技能検定をもっている、環境省の自然環境保全基礎調査の調査責任者の経験がある

# 基礎生物学

## (授業概要)

高校生物の復習を基本に、将来的に関わる動植物についてより深く理解するための下地をつくる。  
細胞、組織、臓器といった生体の構成成分を各階層で理解する。

科	生命科学科	教員	三輪
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位数	35

## 目標

前期…生体を構成する細胞をはじめとし、組織、遺伝子、主な臓器について理解する。

後期…免疫の仕組み、神経系、感覚器、生物の分類について学ぶ。

## 授業計画

- 1回 細胞の構造 (1)
  - 2回 細胞の構造 (2)
  - 3回 生体を構成する物質
  - 4回 タンパク質、酵素
  - 5回 動物の組織と器官
  - 6回 遺伝子とゲノム
  - 7回 体細胞分裂
  - 8回 遺伝情報の発現
  - 9回 減数分裂
  - 10回 遺伝・メンデルの法則
  - 11回 恒常性、体液、循環器系
  - 12回 動物の循環、循環器系
  - 13回 肝臓の働き、腎臓の働き
  - 14回 腎臓の働き、消化器系の働き
  - 15回 まとめ
  - 16回 前期期末試験
  - 17回 前期期末試験返却、答え合わせ
- 後期
- 18回 生体防御 (1)
  - 19回 生体防御 (2)
  - 20回 神経系

- 21回 感覚器（視覚、聴覚、平衡感覚）
- 22回 感覚器（味覚、嗅覚、皮膚感覚）
- 23回 まとめ
- 24回 内分泌系
- 25回 糖尿病と血糖値
- 26回 自律神経（交感神経・副交感神経）
- 27回 自習
- 28回 生物の分類
- 29回 生物の系統樹、ドメイン
- 30回 原核生物界、原生生物界
- 31回 植物界
- 32回 動物界
- 33回 まとめ
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験返却、答え合わせ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

教材と板書

きょうざい  
教材

浜島書店『生物図表』

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせまりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

特になし。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物解剖・生理学Ⅰ

## (授業概要)

社会人基礎力としての動物解剖・生理学の基礎知識を習得。

愛玩動物飼養管理士 試験に対応できる動物解剖・生理学知識を習得。

動物解剖・生理学についてより高度な知識を習得し、アニマルサイエンスを調査検索できるように法律・規則や専門用語を学ぶ。

科	生命科学科	教員	森 聖
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

- 1) 社会人基礎力としての動物解剖・生理学の基礎知識を習得する。
- 2) 11月の第4日曜日の愛玩動物飼養管理士 試験に対応できる動物解剖・生理学を学ぶ。

### 後期

- 1) 動物解剖・生理学についてより高度な知識を習得し、ヒト及び動物の構造と機能を調査検索できるように法律・規則や専門用語を学ぶ。

## 授業計画

- 1回 ガイダンス\_\_シラバスの説明。体の各部位の名称の説明。
- 2回 愛玩動物飼養管理士 2級 3編 1章 体の基本の仕組み
- 3回 愛玩動物飼養管理士 2級 3編 2章 消化器
- 4回 愛玩動物飼養管理士 2級 3編 3章 泌尿器
- 5回 愛玩動物飼養管理士 2級 3編 4章 運動器
- 6回 愛玩動物飼養管理士 2級 3編 5章 皮膚と感覚器
- 7回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 1章 循環器
- 8回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 2章 呼吸
- 9回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 3章 内分泌とホルモン
- 10回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 4章 体内の情報伝達
- 11回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 5章 血液と造血器
- 12回 愛玩動物飼養管理士 2級 4編 1章 生殖器の形態と機能
- 13回 愛玩動物飼養管理士 2級 4編 4章 遺伝学概論
- 14回 愛玩動物飼養管理士 2級 4編 2章 犬の繁殖生理
- 15回 前期期末試験。愛玩動物飼養管理士 2級 4編 3章 猫の繁殖生理
- 16回 前期期末試験 解説。愛玩動物飼養管理士 1級 1編 1章 循環器
- 17回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 2章 呼吸器
- 18回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 3章 内分泌とホルモン
- 19回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 4章 体内の情報伝達
- 20回 愛玩動物飼養管理士 1級 1編 5章 血液と造血器
- 21回 愛玩動物飼養管理士 1級 2編 1章 動物の遺伝

- 22回 愛玩動物飼養管理士1級2編2章 動物の繁殖生理
- 23回 骨格\_\_看護師教科書1巻 第7章 (愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2022年、Eduward Press)
- 24回 筋肉\_\_看護師教科書1巻 第7章
- 25回 皮膚\_\_看護師教科書1巻 第8章
- 26回 肝臓\_\_看護師教科書1巻 第11章
- 27回 膵臓\_\_看護師教科書1巻 第11章
- 28回 口腔、胃腸-1\_\_看護師教科書1巻 第11章
- 29回 口腔、胃腸-2\_\_看護師教科書1巻 第11章
- 30回 腎臓-1\_\_看護師教科書1巻 第12章
- 31回 腎臓-2\_\_看護師教科書1巻 第12章
- 32回 免疫学-1\_\_看護師教科書1巻 第3章、3巻 第1章7
- 33回 後期期末試験。免疫学-2\_\_看護師教科書1巻 第3章、3巻 第1章7
- 34回 後期期末試験 解説。神経系\_\_看護師教科書1巻 第5章
- 35回 まとめ

### 授業の方法

座学の講義

### 教材

- 1) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 EduwardPress 1巻 形態学機能学、参考書、試験問題集。
- 2) 愛玩動物飼養管理士2および1級の教科書、試験問題集。
- 3) 休み時間の解剖学 加藤征治・著 講談社・発行2018/7/28。
- 3) NHK BS テレビ放送の放送大学よりの最新情報\_\_例  
<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/vod?ca=30161>  
 010 疾病の成立と回復促進 ('21) 1710176p  
<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/vod?ca=1176>  
 042 生命分子と細胞の科学 ('19) 1562894p  
<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/vod?ca=30291>  
 008 人体の構造と機能 ('22) 1710206p

### 評価の方法

期末試験80%、平常点20%

### 授業外での学習方法

なし

### 実務経験と授業科目の関係

あり、神戸学園にて2023と2024年、パートアルバイト講師。\_\_2023年に獣医科往診所開設。獣医科動物病院勤務、製薬会社の市販後安全管理(医薬品、自家培養細胞)、アミテーザの臨床開発、開発候補物の安全性試験、発がん研究(病理学 博士(医学)、日本毒性病理専門家)など。

# ホームルーム/ビジネスマナー

## (授業概要)

ビジネスマナーは社会人にとっての基本となります。例えば目を合わせて挨拶が出来ない、言葉の使い方がおかしい、名刺交換の仕方を知らない、上座がどこか分からないなど、「ビジネスマナーの基本を身につけていない人」をみなさんは信用、信頼ができますか？この科目では社会人として基本的に必要なビジネスマナーを理解、実践ができるようになる事を目的とし、人間関係や信頼関係を構築できるようにする事とします。ホームルームとの兼ね合いのため、授業内容を面談や行事の準備に活用する場合がございます。

科	生命科学科	教員	津田
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

就職活動やインターンシップでの重要となる書類である履歴書とお礼状。この2つの書き方やマナーを知り、正しく書けるようになる事。スーツの着方(男性の場合は身だしなみやネクタイの結び方など、女性の場合も身だしなみやアクセサリ など)の間違いと正解を区別できるようになる。立ち方やお辞儀の仕方などの所作を身につける。敬語(丁寧、謙譲語、尊敬語)の差別化をして理解し話せるようになる。現代の最新のビジネスマナーでもあるリモートワークマナーを知る。席次(上座と下座)、名刺交換の基本を理解し実践ができるようになる。

### 後期

電話対応の基本を理解する。ビジネス文書のシーンに合った使い分けができるようになる。封筒の基本と宛名の書き方に関するマナー理解できるようになる。冠婚葬祭のマナーを理解できるようになる事。食事と飲み会に関するビジネスマナーがある事を知り、理解できるようになる。ビジネスで使われる用語の語句と意味を覚え、理解し使えるようになる。

## 授業計画

- 1回 自己紹介・ルール確認
- 2回 面談
- 3回 面談
- 4回 履歴書の書き方・実践
- 5回 お礼状の書き方・実践
- 6回 研修旅行の事前説明
- 7回 スポーツ大会の委員決めとすること決め
- 8回 エキスポの委員決め・実施する内容の案だし
- 9回 スポーツ大会の練習
- 10回 スポーツ大会の練習
- 11回 履歴書の実践・添削
- 12回 履歴書の実践・添削

- 13回 夏休み前の確認・掃除
- 14回 前期期末試験の対策
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験の結果発表
- 17回 面談
- 18回 面談
- 19回 面談
- 20回 エキスポの準備
- 21回 エキスポの準備
- 22回 エキスポの後片付け
- 23回 電話対応の仕方
- 24回 名刺交換の仕方
- 25回 企業セミナーの事前説明
- 26回 敬語について
- 27回 敬語について
- 28回 卒業研究発表会について
- 29回 面談
- 30回 面談
- 31回 面談
- 32回 後期期末試験
- 33回 後期期末試験の結果
- 34回 2年次ゼミ説明
- 35回 一年の振り返り

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義・演習・実践

きょうざい  
教材

プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうじょう 平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

校内を利用してエレベーターや上座下座を教える

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

なし

# 動物関連法規学Ⅰ

## (授業概要)

狂犬病予防法、動物愛護法を中心に家庭で飼育または動物に関わる仕事に就く上で知っておくべき各種動物に関する法律について学ぶ。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位数	35

## 目標

### 前期

法律の仕組み、狂犬病予防法など動物に関わる以上は必須となる制度について理解できるようになる。

### 後期

動物愛護法を中心にペットビジネスや動物を飼育する際に知っておくべき事柄や制度について理解できるようになる。

## 授業計画

- 1回 授業概要紹介、自己紹介など
- 2回 犬猫飼養頭数、動物に関する社会の現状など
- 3回 狂犬病予防法 (1) 狂犬病とは その1
- 4回 狂犬病予防法 (2) 狂犬病とは その2
- 5回 狂犬病予防法 (3) 狂犬病清浄国・地域について
- 6回 狂犬病予防法 (4) 狂犬病予防法の概要 その1 法の概要、目的
- 7回 狂犬病予防法 (5) 狂犬病予防法の概要 その2 対象動物、輸入禁止動物 (感染症法)
- 8回 狂犬病予防法 (6) 狂犬病予防法の概要 その3 畜犬登録、狂犬病予防注射制度
- 9回 狂犬病予防法 (7) 狂犬病予防法の概要 その4 罰則など
- 10回 動物が亡くなった場合 (1) 動物や動物の死体の法的立場
- 11回 動物が亡くなった場合 (2) 廃棄物処理法と化製場法と動物
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 動物が亡くなった場合 (3) 人の墓に動物を入れることはできるのか その1
- 15回 動物が亡くなった場合 (3) 人の墓に動物を入れることはできるのか その2
- 16回 動物愛護法 (1) 法律の成立背景その1
- 17回 動物愛護法 (2) 法律の成立背景その2
- 18回 動物愛護法 (3) 目的
- 19回 動物愛護法 (4) 基本原則
- 20回 動物愛護法 (5) 動物の飼い主の責任 その1
- 21回 動物愛護法 (6) 動物の飼い主の責任 その2
- 22回 動物愛護法 (7) 動物虐待に対する罰則 その1
- 23回 動物愛護法 (8) 動物虐待に対する罰則 その2

- 24回 動物愛護法（9）動物取扱業の規制 その1
- 25回 動物愛護法（10）動物取扱業の規制 その2
- 26回 動物愛護法（11）動物取扱業の規制 その3
- 27回 後期期末試験
- 28回 後期期末試験返却
- 29回 動物愛護法（12）動物取扱業の規制 その4
- 30回 動物愛護法（13）第2種動物取扱業、実験動物と産業動物、
- 31回 動物愛護法（14）特定動物 その1
- 32回 動物愛護法（15）特定動物 その2
- 33回 動物愛護法（16）マイクロチップの装着
- 34回 動物愛護法（17）自治体の役割
- 35回 1年総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎健康管理学Ⅰ

## (授業概要)

動物と関わる上で日常的な健康管理や予防について学び、実践できるようにする

科	生命科学科	教員	田中
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位数	35

## 目標

### 前期

犬や猫の日常的な健康管理と予防について学び、正常時と異常時の違いを理解し、異常時に早く気付くことができる

### 後期

前期に引き続き健康学と予防について学ぶ。またそれらを基礎とし、様々な疾患について理解する。

## 授業計画

- 1回 授業について
- 2回 散歩・運動について
- 3回 排泄、排尿について
- 4回 全身のお手入れ、各疾患について①
- 5回 全身のお手入れ、各疾患について②
- 6回 全身のお手入れ、各疾患について③
- 7回 口腔衛生について①
- 8回 口腔衛生について②
- 9回 口腔衛生について③
- 10回 熱中症について①
- 11回 熱中症について②
- 12回 犬の登録
- 13回 ワクチンで予防できる病気（犬）
- 14回 ワクチンで予防できる病気（猫）
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 不妊手術について①
- 18回 不妊手術について②
- 19回 犬糸状虫症の予防について

- 20回 外部寄生虫について①
- 21回 外部寄生虫について②
- 22回 外部寄生虫について③
- 23回 腸内寄生虫について①
- 24回 腸内寄生虫について②
- 25回 腸内寄生虫について③
- 26回 犬種によって多く見られる疾患について①
- 27回 犬種によって多く見られる疾患について②
- 28回 猫種によって多く見られる疾患について①
- 29回 猫種によって多く見られる疾患について②
- 30回 中毒について①
- 31回 後期復習
- 32回 後期期末試験
- 33回 試験返却
- 34回 中毒について②
- 35回 総復習（課題）

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい  
教材

プリント、教科書（コンパニオンアニマルの健康管理学）

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

授業用のプリントと教科書を各自見直し、纏める。

じつむけいけん と じゅぎょうかもく の かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 公衆衛生学Ⅰ

## (授業概要)

近年環境破壊等の人間活動を原因とする新興感染症・再興感染症の台頭が地球規模で問題となっており、これらの多くが人獣共通感染症である。人、動物、環境の健康は一体として守るべきもの（ワンヘルス）との考え方を基本として、人と動物の健康保持・推進のため人獣共通感染症について学習する。さらに、動物由来の食品等が原因となることが多い食中毒についても学習する。

科	生命科学科	教員	花木 久実子
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

公衆衛生の基本となる国民衛生の動向、感染症の基本的知識（疫学、病原体、感染、防疫等）について学ぶ。  
人獣共通感染症のうち、細菌及び寄生虫（線虫）を原因とするものについて学ぶ。

### 後期

人獣共通感染症のうち、寄生虫（吸虫、条虫）、ウイルス、真菌を原因とするものについて学ぶ。

感染症を媒介することが多い衛生害虫（蚊、ダニ、ノミ等）について学ぶ。

食中毒と食品による危害防止を目的とする食品衛生法について学ぶ。

## 授業計画

- 1回 公衆衛生とは
- 2回 国民衛生の動向
- 3回 疫学と疾病予防
- 4回 感染症の基礎1（病原体）
- 5回 感染症の基礎2（病原体）
- 6回 感染症の基礎3（感染と予防）
- 7回 人獣共通感染症総論
- 8回 細菌性人獣共通感染症1
- 9回 細菌性人獣共通感染症2
- 10回 細菌性人獣共通感染症3
- 11回 細菌性人獣共通感染症4
- 12回 細菌性人獣共通感染症5
- 13回 寄生虫性人獣共通感染症1
- 14回 寄生虫性人獣共通感染症2
- 15回 前期まとめ
- 16回 前期期末試験
- 17回 答案返却、解説
- 18回 寄生虫性人獣共通感染症3
- 19回 寄生虫性人獣共通感染症4

- 20回 寄生虫性人獣共通感染症 5
- 21回 ウイルス性人獣共通感染症 1
- 22回 ウイルス性人獣共通感染症 2
- 23回 ウイルス性人獣共通感染症 3
- 24回 ウイルス性人獣共通感染症 4
- 25回 ウイルス性人獣共通感染症 5
- 26回 狂犬病
- 27回 真菌性人獣共通感染症、公衆衛生上重要な衛生昆虫
- 28回 新興感染症・再興感染症 1
- 29回 新興感染症・再興感染症 2
- 30回 食品衛生法の概要
- 31回 食中毒 1
- 32回 食中毒 2
- 33回 食中毒 3
- 34回 後期まとめ
- 35回 後期期末試験
- 35回 答案返却、解説

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

自作のテキスト、パワーポイントによる講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験 80%、授業態度 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

参考書、厚生労働省等公的機関のウェブサイト等により知識や最新情報を習得する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり（公衆衛生獣医師として保健所等で公衆衛生行政に従事）

# 栄養学 I

## (授業概要)

五大栄養素の基礎的な知識、犬猫に必要な栄養素、エネルギー要求量、ライフステージ毎の栄養管理、ペットフードの基本的知識、様々な疾患時の療養食の特性など、動物の状態に適合した食事管理についての知識を身に着ける。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	伊勢
コース	スモールアニマルコース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	35

## 目標

### 前期

五大栄養素について理解をする。BCS やエネルギー要求量の計算方法を身に着ける

### 後期

フードの歴史、種類、選び方、ライフステージ別のフードの違い、アレルギー、食べてはいけないもの、PB と NB の違いを理解し、接客できるようになる。

## 授業計画

- 1回 栄養学とは/栄養を摂取するとは
- 2回 五大栄養素 (たんぱく質)
- 3回 五大栄養素 (たんぱく質)
- 4回 五大栄養素 (炭水化物)
- 5回 五大栄養素 (炭水化物)
- 6回 五大栄養素 (脂質)
- 7回 五大栄養素 (脂質)
- 8回 五大栄養素 (ビタミン)
- 9回 五大栄養素 (ビタミン)
- 10回 五大栄養素 (ミネラル)
- 11回 五大栄養素 (ミネラル)
- 12回 ボディコンディションスコア (BCS)
- 13回 エネルギー要求量
- 14回 エネルギー要求量
- 15回 前期復習
- 16回 前期期末試験(実施)
- 17回 前期期末試験(返却・解説)
- 18回 エネルギー要求量
- 19回 フードの歴史

- 20回 4D/フードの種類 (ドライ・セミモイスト・ウェット)
- 21回 フードの種類 (総合栄養食・栄養補助食・特別療法食)
- 22回 パッケージの見方
- 23回 添加物・酸化防止剤・保存料
- 24回 ライフステージ (哺乳期・離乳期・成長期)
- 25回 ライフステージ (維持期・高齢期)
- 26回 ライフステージ (妊娠授乳期・治療期)
- 27回 食物アレルギー
- 28回 食物アレルギー
- 29回 犬猫が食べてはいけないもの
- 30回 犬猫が食べてはいけないもの
- 31回 PB と NB の違い
- 32回 振り返り
- 33回 後期復習
- 34回 後期期末試験(実施)
- 35回 後期期末試験(返却・解説)

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅっせきりつ 平常点 20% (出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ペットショップでフードや用品を見る

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 資格対策

(授業概要、目的)

サービス接遇検定 3 級/愛玩動物飼養管理士 2 級の認定試験で合格する事。

試験に合格し資格を取得することで就職活動や就職後の業務に活用できる。

サービス接遇検定⇒6 月上旬に認定試験開催⇒試験範囲(サービススタッフの資質/専門知識/一般知識/対人技能/実務技能)教材をもとに対策授業を行う。

愛玩動物飼養管理士⇒11 月下旬に認定試験開催⇒スクーリング/マークシート課題の実施と試験範囲の対策授業を行う。

科	生命科学科	教員	荻野
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	×
対象年次	1 年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

- ・ サービス接遇検定 3 級取得を目指す。
- ・ 基本的なサービス接遇(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。

### 後期

- ・ 愛玩動物飼養管理士 2 級取得を目指す。
- ・ スクーリング/マークシートの実施を行い試験範囲の内容を学習する。課題報告問題の解説。

## 授業計画

- 1 回 オリエンテーション(受験申込書記入/試験概要の説明)
- 2 回 サービススタッフの資質について
- 3 回 専門知識
- 4 回 一般知識
- 5 回 対人技能
- 7 回 実務技能
- 8 回 模擬試験(6/14 認定試験)
- 9 回 オリエンテーション(愛玩動物飼養管理士教科書配布/課題の説明)
- 10 回 スクーリング実施
- 11 回 スクーリング実施
- 12 回 マークシート課題報告問題実施
- 13 回 マークシート課題報告問題実施
- 14 回 マークシート課題報告問題実施/前期期末試験対策
- 15 回 マークシート課題報告問題実施/前期期末試験対策
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験返却、解説/玩動物飼養管理士試験対策①
- 18 回 愛玩動物飼養管理士試験対策②
- 19 回 愛玩動物飼養管理士試験対策③

- 20回 愛玩動物飼養管理士試験対策④
- 21回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑤
- 22回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑥
- 23回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑦
- 24回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑧
- 25回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑨
- 26回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑩(11/23 認定試験)
- 27回 SPI 対策①
- 28回 SPI 対策②
- 29回 SPI 対策③
- 30回 SPI 対策④
- 31回 SPI 対策⑤
- 32回 SPI 対策⑥
- 33回 SPI 対策⑦
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験返却、解説

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

対策資料及び教本を用いた授業の実施

きょうざい  
教材

サービス接遇検定実問題集(3級)/愛玩動物飼養管理士2級教本2冊/スクーリング資料/ペットの飼養管理

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%/授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

問題集/スクーリング/マークシート/配布プリントの復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# コンパニオンドッグ I

## (授業概要)

- ・犬と共存するための知識を身につける。
- ・犬種ごとの生態・特徴を理解し、他者に説明ができる人材を育成する。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

- ・ J K Cでのグループ（分類、歴史、性格、飼育環境、行動特性など）を学ぶ。
- ・ 日本での人気犬種3種について学び、犬種ごとの特徴について説明できるようになる。

### 後期

- ・ 日本での人気犬種7種について学び、犬種について説明できるようになる。
- ・ グループごとの主要な犬種について学ぶ。
- ・ 外貌を見て犬種名が分かるようになり、犬種ごとの特徴を説明できるようになる

## 授業計画

- 1回 自己紹介
- 2回 コンパニオンドッグとは（動物と犬と人の歴史）・日本と海外の人気犬種について
- 3回 身近な動物の進化、犬の成り立ち、犬種の作り方、犬の被毛、カラー
- 4回 犬の基礎知識（犬の体型、なりやすい病気）①
- 5回 犬の基礎知識（犬の体型、なりやすい病気）②
- 6回 犬の種類のグループ分けについて(1G、2G、3G、)
- 7回 犬の種類のグループ分けについて（4G、5G、6G、7G）
- 8回 犬の種類のグループ分けについて（8G、9G、10G）
- 9回 人気犬種① 1
- 10回 人気犬種① 2
- 11回 人気犬種② 1
- 12回 人気犬種②- 2
- 13回 人気犬種③ 1
- 14回 人気犬種③ 2
- 15回 前期振り返り・試験対策
- 16回 前期期末試験（実施）
- 17回 前期期末試験（返却・解説）

- 18回 人気犬種④
- 19回 人気犬種⑤
- 20回 人気犬種⑥
- 21回 人気犬種⑦
- 22回 人気犬種⑧
- 23回 人気犬種⑨
- 24回 人気犬種⑩
- 25回 1Gの犬種
- 26回 2Gの犬種
- 27回 3Gの犬種
- 28回 5Gの犬種
- 29回 6Gの犬種
- 30回 7Gの犬種
- 31回 8Gの犬種
- 32回 9Gの犬種
- 33回 10Gの犬種
- 34回 後期期末試験（実施）
- 35回 後期期末試験（返却・解説）

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

まるごとわかる犬種大図鑑

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験 80%、平常点 20%（しゅつせきりつ出席率、じゅぎょうたいどなど授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

教科書、ノート、プリントでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# コンパニオンキャット I

## (授業概要)

ペットに関わる職業を目指す為に、猫の基本知識を習得する。

科	生命科学科	教員	上田阿由美
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

猫を飼う基本的な事

猫種名を知る 猫と犬の違い 行動学 スタンダード

### 後期

健康チェック 猫を迎える準備 自宅でのケア

猫の病気 ワクチネーション スタンダード

## 授業計画

- 1回 オリエンテーション（上田の自己紹介・授業のルール・評価の出し方・1年間の授業内容）  
アンケート用紙配布（来週提出、期日厳守）
- 2回 猫名（カラーコピー配布、学生に猫名を入力させる）  
アンケート提出
- 3回 アンケートの中の（外飼いのデメリット・避妊/去勢手術のメリット・ペットロス）
- 4回 プロの MIX（雑種）と純血種の定義
- 5回 純血種の LH・SH の飼い方、性格の違い・遺伝の違い
- 6回 純血種の MALE・FEMALE の飼い方・性格の違い
- 7回 猫と犬との違い①（習性・体型・感触）多胎性について
- 8回 猫と犬との違い②（運動感覚・体臭・排泄物）
- 9回 猫と犬との違い③（種類・カラー・腸・歯）
- 10回 猫と犬との違い④（繁殖機能）
- 11回 行動学①（舌・爪・尾）
- 12回 行動学②（髭・鼻・目・耳）
- 13回 行動学③（内蔵・皮膚・体感）
- 14回 行動学④（猫の動き方のまとめ）
- 15回 前期期末試験
- 16回 テスト返却（不理解部分の説明）
- 17回 前期の反省（後期に向かって）（猫の歴史）
- 18回 猫種の分類（ポティータイプ・カラー・特殊な形等）
- 19回 CFA 公認猫種の DVD①
- 20回 CFA 公認猫種の DVD②
- 21回 猫を自宅に迎える（オーナーの条件・準備）
- 21回 迎えた時の注意点

- 2 2回 猫の病気①（早期発見するには）
- 2 3回 猫の病気②
- 2 4回 猫の病気③
- 2 5回 猫の病気④
- 2 6回 猫の病気⑤（伝染病）
- 2 7回 猫の病気⑥（遺伝病）
- 2 8回 ワクチネーション①
- 2 9回 ワクチネーション②
- 3 0回 猫のシャンプー①
- 3 1回 猫のシャンプー②
- 3 2回 猫のシャンプー③
- 3 3回 後期期末試験
- 3 4回 テスト返却（不理解部分の説明）
- 3 5回 2年になるにあたっての心構え等

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学

きょうざい  
教材

CFA 公認猫種カラーコピー

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、平常点 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

機会があればキャットショー見学

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

CFA（キャットファンシャーズアソシエーション U.S.A）公認 オールブリードジャッジ

# 両生爬虫類学 I

## (授業概要)

両生類と爬虫類は、世界中に広く分布し、生態学的な役割が重要であり、近年でもペットとして飼われる傾向も上がっている。また、両生爬虫類は経済、医療、社会文化など様々な価値があり、人間との関係性も従来から深く築いている。本授業では、生態学を視座として、両生爬虫類における動物学的特徴、生息地や保全状況などの基礎知識を知り、人間との関係性について理解し、最終的に娯楽として、基礎的な両生類・爬虫類の飼い方を学ぶ。

科	生命科学科	教員	潘之甫
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

両生類の特徴、分類、多様性、調査方法と保全現状について包括的に理解する。

両生類の社会・文化・経済・医療的価値などについて包括的に理解する。

両生類の飼育環境と飼育方法について学ぶ。

### 後期

爬虫類の特徴、分類、多様性、調査方法と保全現状について包括的に理解する。

爬虫類の社会・文化・経済・医療的価値などについて包括的に理解する。

爬虫類の飼育環境と飼育方法について学ぶ。

## 授業計画

- 1回 オリエンテーション、本講義について
- 2回 両生類の特徴
- 3回 両生類の分類、多様性 1
- 4回 両生類の分類、多様性 2
- 5回 両生類の行動生態
- 6回 両生類の調査方法
- 7回 両生類の保全現状
- 8回 両生類の様々な価値
- 9回 両生爬虫類の変温特性について
- 10回 両生類の飼育環境・飼育方法について 1
- 11回 両生類の飼育環境・飼育方法について 2
- 12回 爬虫類の特徴（有鱗目）
- 13回 爬虫類の分類（有鱗目）
- 14回 爬虫類の多様性（有鱗目）
- 15回 2学期に向けて

- 16回 試験対策1
- 17回 試験対策2
- 18回 前期期末試験
- 19回 試験返却
- 20回 両生爬虫類の進化について
- 21回 爬虫類の特徴・分類（カメ目）
- 22回 爬虫類の多様性（カメ目）
- 23回 爬虫類の特徴（ワニ目）
- 24回 爬虫類の分類（ワニ目）
- 25回 爬虫類の多様性（ワニ目）
- 26回 爬虫類の調査方法
- 27回 爬虫類の保全現状、保全にできること
- 28回 爬虫類の生態系サービスについて
- 29回 爬虫類の飼育環境・飼育方法（トカゲ・ヘビ）
- 30回 爬虫類の飼育環境・飼育方法（カメ）
- 31回 学術文献の調べ方
- 32回 学術文献のまとめ方
- 33回 これまでの振り返り、試験対策1
- 34回 試験対策2
- 35回 後期期末試験、試験フィードバック

授業じゅぎょうの方法ほうほう

講義、演習

教材きょうざい

両生類・爬虫類のふしぎ（サイエンス・アイ新書 84）

Amphibians and reptiles (Naturalists' Handbooks Book 31) (English Edition)

※必要に応じて参考資料を配布する。

評価ひょうかの方法ほうほう

期末試験 80%、授業態度・出席率 20%

授業外じゅぎょうがいでの学習がくしゅう方法ほうほう

実務経験じつむけいけんと授業科目じゅぎょうかもくの関係かんけい

台湾・台北市立木柵動物園保全研究センターでの実務経験。日本環境教育学会員。

# アニマルアクティビティ

## (授業概要)

アニマルセラピーやアニマルアクティビティの現状とセラピードッグの育成に関する適性飼育と必要な条件を学び、ボランティアや教育、介護などで活躍できる人材の育成を行う。

科	生命科学科	教員	荻野 直美
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

アニマルセラピーを通じて、ペット動物に対する意識の向上

動物介在活動の普及・ボランティアの育成

### 後期

動物介在活動の実践と動物を飼い暮らすことの大切さと難しさを伝えられるようになる。

(動物の適性飼育の重要性)

## 授業計画

- 1回 自己紹介、アニマルセラピーとは
- 2回 AAA・AAT・AAE 概要
- 3回 AAT を行うためには
- 4回 動物がもたらす効果
- 5回 AAT を行う側からの分類①
- 6回 AAT を行う側からの分類②
- 7回 AAT を受ける側からの分類
- 8回 AAT を行う上での動物のストレス①
- 9回 AAT を行う上での動物のストレス②
- 10回 動物の適性評価①
- 11回 動物の適性評価②
- 12回 患者に合った動物を選ぶ
- 13回 AAT の適応に必要な場合
- 14回 活動中のストレス要因
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験返却
- 17回 動物への不適当な扱い
- 18回 捨てず・増やさず・飼うなら一生①
- 19回 捨てず・増やさず・飼うなら一生②
- 20回 グループワーク
- 21回 活動に参加する動物のチェック
- 22回 活動に際しての注意点

- 23回 活動当日の注意点 デモンストレーション
- 24回 ボランティアの責任
- 25回 施設と設定
- 26回 動物を飼う「食事編」
- 27回 動物を飼う「環境編」
- 28回 動物を飼う「体の手入れ編」
- 29回 動物を飼う「運動編」
- 30回 動物を飼う「予防編」
- 31回 動物を飼う「トレーニング編」
- 32回 後期ノートチェック、テスト範囲まとめ
- 33回 後期期末試験
- 34回 後期期末試験返却
- 35回 動物を飼う「愛情・絆編」まとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、演習、グループワーク

きょうざい  
教材

ノートプリント配布 1～23、その他環境省の配布ポスター

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

けいけん じゅぎょうか もく かんけい  
経験と授業科目の関係

動物介在活動履歴 20年

# エキゾチックアニマルⅠ

## (授業概要)

エキゾチックアニマルを扱う仕事（動物園、水族館、ペットショップ等）をする上で必要な知識を身につけるために、主要4種類（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット）のペット動物の分類や生体・生態・特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科目	生命科学科	教員	金田
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

エキゾチックの概要およびペットや飼育動物の定義を習得する。ハムスターの生体や歴史、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

### 後期

ウサギ・モルモット・フェレットの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

## 授業計画

- 1回 エキゾチックアニマルとは
- 2回 ペットの適性について
- 3回 ハムスターについて（分類、歴史）
- 4回 ハムスターについて（体の特徴）
- 5回 ハムスターについて（体の特徴）
- 6回 ハムスターについて（生理的な特徴）
- 7回 ハムスターについて（飼育方法）
- 8回 ハムスターについて（繁殖）
- 9回 ハムスターについて（病気）
- 10回 ハムスターについて（病気）
- 11回 ウサギについて（分類・歴史）
- 12回 ウサギについて（体の特徴）
- 13回 ウサギについて（体の特徴）
- 14回 試験対策
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 ウサギについて（生理的な特徴）

- 18回 ウサギについて（飼育方法）
- 19回 ウサギについて（病気）
- 20回 ウサギについて（病気）
- 21回 モルモットについて（分類・歴史）
- 22回 モルモットについて（体の特徴）
- 23回 モルモットについて（生理的な特徴）
- 24回 モルモットについて（飼育方法・繁殖）
- 25回 モルモットについて（繁殖）
- 26回 モルモットについて（病気）
- 27回 モルモットについて（病気）
- 28回 フェレットについて（分類・歴史）
- 29回 フェレットについて（体の特徴）
- 30回 フェレットについて（生理的な特徴）
- 31回 フェレットについて（飼育方法）
- 32回 試験対策
- 33回 後期期末試験
- 34回 試験返却
- 35回 フェレットについて（病気）

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 家畜学 I

## (授業概要)

人間生活を支えている家畜の役割と動向、家畜の生理生態、飼料の生産と利用を学ぶ

科	生命科学科	教員	金田
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

家畜動物とはどのように人とつながっているのか、社会的役割はどのようになっているのかを理解する。  
家畜動物であるウシおよびブタについて、体の特徴や飼育に関する知識、生産物や疾病について理解する。

### 後期

家畜動物であるブタおよびウマ、ニワトリについて、体の特徴や飼育に関する知識、生産物や疾病について理解する。

## 授業計画

- 1回 家畜動物の定義
- 2回 ウシの概要について①
- 3回 ウシの概要について②、ウシの体の構造について①
- 4回 ウシの体の構造について②
- 5回 ウシの体の構造について③
- 6回 ウシの品種について、ウシの飼育について①
- 7回 ウシの飼育について②
- 8回 ウシの飼育について③
- 9回 ウシの疾患について①
- 10回 ウシの疾病について②
- 11回 ブタの概要について①
- 12回 ブタの体の構造について①
- 13回 ブタの体の構造について②
- 14回 試験対策
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却・解説
- 17回 ブタの品種について、ブタの飼育について①
- 18回 ブタの飼育について②
- 19回 ブタの飼育について③
- 20回 ブタの疾病について①
- 21回 ブタの疾病について②

- 22回 ウマの概要について
- 23回 ウマの体の構造について①
- 24回 ウマの体の構造について②
- 25回 ウマの品種について①
- 26回 ウマの品種について②、ウマの飼育について①
- 27回 ウマの飼育について②
- 28回 ウマの飼育について③
- 29回 ウマの疾病について①
- 30回 ウマの疾病について②
- 31回 試験対策
- 32回 後期期末試験
- 33回 試験返却・解説
- 34回 ニワトリの概要について①
- 35回 ニワトリの概要について②

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

家畜動物の基礎（教科書）、自作プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうじょう 平常点 20%（しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# グルーミング概論・実習Ⅰ

## (授業概要)

シャンプー犬種のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、バリカン、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、足回りカットを行い、犬の保定の仕方や犬の扱い方の基礎を学ぶ。学生同士協力しスムーズに実習を行うことが出来るようにコミュニケーション能力を身に付ける。

科	生命科学科	教員	山崎 雅代
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35×5 コマ

## 目標

### 前期

チワワ・ダックスフンド等のシャンプー犬に実際にグルーミング（爪切り・耳掃除・バリカン・ブラッシング・シャンプー・ドライイング）を行う上で、犬に負担がかからないように仕上げる事が出来るようになるグルーミングを行いながら犬の扱い方・保定の仕方を身に付ける

### 後期

1頭の犬に対するグルーミングの一つ一つの作業を丁寧に行えるようにする  
時間も意識しながら仕上がりを綺麗にする

## 授業計画

- 1回 道具配布・座学（グルーミングとは～コーミング）
- 2回 座学（耳掃除～道具による怪我）
- 3回 座学（ハサミについて～実習の諸注意）
- 4回 座学（実習室案内～リボン作成）
- 5回 モデルグルーミング
- 6回 初グルーミング実習（3人で1頭）
- 7回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 8回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 9回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 10回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 11回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 12回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 13回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 14回 グルーミング実習（3人で1頭）
- 15回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 16回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 17回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 18回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 19回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 20回 グルーミング実習（2～3人で1頭）

- |     |                    |
|-----|--------------------|
| 21回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 22回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 23回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 24回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 25回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 26回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 27回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 28回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 29回 | グルーミング実習 (2～3人で1頭) |
| 30回 | グルーミング実習 (1～2人で1頭) |
| 31回 | グルーミング実習 (1～2人で1頭) |
| 32回 | グルーミング実習 (1～2人で1頭) |
| 33回 | グルーミング実習 (1～2人で1頭) |
| 34回 | グルーミング実習 (1～2人で1頭) |
| 35回 | グルーミング実習 (1～2人で1頭) |

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

実技実習・講義

きょうざい  
教材

グルーミング用品・講義プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物看護基礎実習Ⅰ

## (授業概要)

動物と関わる上で接し方、日常的な健康管理や予防について学び、実践できるようにする

か科	生命科学科	きょういん 教員	田中
コース	スモールアニマルコース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2コマ

## 目標

### 前期

動物に負担がかからないような基本的な保定ができるようにする。またバイタルサインを理解し、いち早く動物の異常に気付くことができる。

### 後期

ワクチン、フィラリア予防、ノミダニ予防について理解し、説明できるようにする。  
また基本的な健康管理だけでなく、エキゾチックの健康管理、保定もできるようにする。

## 授業計画

- 1回 自己紹介、授業について、実習室での注意点
- 2回 動物への接し方、保定について
- 3回 犬の保定（立位、犬座）
- 4回 犬の保定（伏臥位、横臥位）
- 5回 猫の保定
- 6回 実習（犬の保定）
- 7回 バイタルサイン（体重、体温）
- 8回 バイタルサイン（脈拍、呼吸、CRT）
- 9回 バイタルサインの注意点
- 10回 実習（猫の保定）
- 11回 健康チェック①
- 12回 健康チェック②
- 13回 健康チェック③
- 14回 実習（バイタルサイン、健康チェック）
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 フィラリア予防①

- 18回 フィラリア予防②
- 19回 ノミダニ予防①
- 20回 ノミダニ予防②
- 21回 狂犬病、混合ワクチン
- 22回 混合ワクチンで防げる病気（犬）
- 23回 混合ワクチンで防げる病気（猫）
- 24回 避妊手術、去勢手術について
- 25回 避妊手術で予防できる病気①
- 26回 去勢手術で予防できる病気②
- 27回 肥満の予防①
- 28回 肥満の予防②
- 29回 エキゾチック①
- 30回 エキゾチック②
- 31回 エキゾチック③
- 32回 後期復習
- 33回 後期期末試験
- 34回 試験返却
- 35回 総復習（課題）

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、実習

きょうざい  
教材

プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

授業用プリントを各自纏めなおす。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# トレーニング概論・実習Ⅰ

## (授業概要・目的)

犬を扱う仕事（トリマー、ペットショップ、動物看護師、ドッグトレーナー）をする上で必要な知識を身につけるために犬の生態、特質、犬種のもつ特性を理解し犬を正しく扱えるようになる。また家庭犬としてのしつけに必要な知識と技術を得る

科	生命科学科	教員	田村亜理沙
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35×2コマ

## 目標

### 前期

犬の歴史と進化、家畜化について理解する。犬の生態、習性や行動を知る

### 後期

犬のボディランゲージやサインを理解し、犬とのコミュニケーション技術を得る

人と犬との生活のルールやマナーを構築していく為の知識をつける

## 授業計画

- 1回 実習の諸注意、班分け、
- 2回 犬の歴史
- 3回 犬の進化
- 4回 家畜化とは
- 5回 の生得的本能
- 6回 犬の素因、、
- 7回 犬種の特徴
- 8回 特質について
- 9回 犬の素因と育つ環境の相互作用
- 10回 犬の脳と行動の関係
- 11回 子犬の成長過程 1
- 12回 子犬の成長過程 2
- 13回 犬の思春期がもたらす行動の変化
- 14回 犬の群れの階級とは
- 15回 前期のまとめ
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却
- 18回 前期期末試験解答
- 19回 犬の同種同士のコミュニケーションについて
- 20回 嗅覚によるコミュニケーション

- 21回 聴覚によるコミュニケーション
- 22回 視覚によるコミュニケーション
- 23回 ボディランゲージ1
- 24回 ボディランゲージ2
- 25回 犬のストレスとは
- 26回 犬のストレスサイン
- 27回 犬の回避行動と服従行動
- 28回 犬の威嚇、攻撃行動
- 29回 カーミングシグナル
- 30回 カーミングシグナル
- 31回 犬のパーソナルスペース
- 32回 犬と人との暮らしについて/犬を飼うことのリスクとメリット
- 33回 家庭犬の選び方/家庭犬のしつけとは
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験返却

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学、実際に犬を使つての実技実習

きょうざい  
教材・

テキスト、DVD等

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

実習犬の散歩等を通して、犬の管理や取扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり、陽性強化法を用いた訓練を通し、正しい犬との関係性の構築の仕方を教える

# コンピューター実習

## (授業概要)

本講義では、Microsoft Word を用いたビジネス文書の作成、Excel を用いた表計算とグラフ作成、PowerPoint を用いた基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行えるようになることを目的とする。

科	生命科学科	教員	大西 望
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

タッチタイピングが行える。

Microsoft Word を使用して、基本的なビジネス文書の作成が行える。

### 後期

Microsoft Excel を使用して、数式・関数を用いた計算と、グラフの作成が行える。

Microsoft PowerPoint を使用して、基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行える。

## 授業計画

- 1回 授業概要
- 2回 タイピング基礎
- 3回 文字の入力と変換
- 4回 Word 基本操作, 画面構成
- 5回 ページ設定, 文章入力, 文字の編集
- 6回 フォントの設定, 段落設定, 箇条書き
- 7回 課題 (1)
- 8回 グラフィック機能 (1); ワードアート, 画像
- 9回 グラフィック機能 (2); 文字の効果, ページ罫線
- 10回 グラフィック機能 (3); 図形, SmartArt
- 11回 表の作成と編集 (1)
- 12回 表の作成と編集 (2)
- 13回 表の作成と編集 (3)
- 14回 課題 (2)
- 15回 前期復習
- 16回 Word 確認テスト
- 17回 Word 確認テスト振り返り (前期最終)
- 18回 後期授業概要, Excel 基本操作, 画面構成 (後期初回)
- 19回 データの入力と編集, オートフィル
- 20回 数式の入力
- 21回 関数 (1); SUM, AVERAGE
- 22回 関数 (2); COUNT, MAX, MIN

- 23回 絶対参照と相対参照
- 24回 表の書式設定, 表示形式
- 25回 表の編集
- 26回 グラフ (1); 円グラフ
- 27回 グラフ (2); 棒グラフ
- 28回 Excel 復習
- 29回 Excel 確認テスト
- 30回 Excel 確認テスト振り返り
- 31回 PowerPoint 基本操作, 画面構成, 新規プレゼンテーションの作成
- 32回 テーマ設定, テキストの入力と編集, 箇条書き, フォントの設定
- 33回 図形, 画像, アニメーション
- 34回 個人課題 (1)
- 35回 個人課題 (2), 後期振り返り (後期最終)

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

コンピューター演習

きょうざい  
教材

よくわかる Word2021 & Excel2021, FOM 出版

ひょうか ほうほう  
評価の方法

授業中の取り組み態度 10%, 課題提出 40%, テスト 50%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

予習 1h, 復習 1h

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 生体管理概論実習Ⅰ

## (授業概要)

飼育棟や地下水族館などにおいて、小動物や家畜動物、水生生物に関する知識を応用とした飼育実践を行う。掃除・給餌・健康チェック・ケア・設備管理といった基礎を実施する。

科	生命科学科	教員	金田・竹内
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35×2コマ

## 目標

### 前期

飼育管理における、掃除・給餌・健康チェック・ケア・設備管理を理解し身につける。危険予測をおこなない、常に万が一のことを考えて行動することができるようになる。一緒に活動するメンバーとコミュニケーションをとり、報告・連絡・相談ができるようになる。

### 後期

前期に身につけた知識および技術を応用し更に良い飼育環境をつくるために考え行動することができる。

## 授業計画

- 1回 生体管理についての説明
- 2回 飼育棟管理についての説明
- 3回 飼育棟管理および地下管理について
- 4回 飼育棟管理および地下管理について
- 5回 飼育実習・地下管理実習
- 6回 飼育実習・地下管理実習
- 7回 飼育実習・地下管理実習
- 8回 飼育実習・地下管理実習
- 9回 飼育実習・地下管理実習
- 10回 飼育実習・地下管理実習
- 11回 飼育実習・地下管理実習
- 12回 飼育実習・地下管理実習
- 13回 飼育実習・地下管理実習
- 14回 飼育実習・地下管理実習
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 飼育実習・地下管理実習
- 18回 飼育実習・地下管理実習

19回 飼育実習・地下管理実習  
20回 飼育実習・地下管理実習  
21回 飼育実習・地下管理実習  
22回 飼育実習・地下管理実習  
23回 飼育実習・地下管理実習  
24回 飼育実習・地下管理実習  
25回 飼育実習・地下管理実習  
26回 飼育実習・地下管理実習  
27回 飼育実習・地下管理実習  
28回 飼育実習・地下管理実習  
29回 飼育実習・地下管理実習  
30回 飼育実習・地下管理実習  
31回 飼育実習・地下管理実習  
32回 後期期末試験  
33回 試験返却  
34回 飼育実習・地下管理実習  
35回 飼育実習・地下管理実習

講義・生体管理実践

きょうざい  
教材

自作プリント、教科書

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 陸上実習

## (授業概要)

- ・心身の健全な育成をはかる
- ・集団行動を身につけ、ルールを順守できるようになる。

科	生命科学科	教員	神垣 厚治
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

- ・全体的なスポーツの基礎技術やルールを理解し、ゲームをきるようにする。
- ・ゲームを通してチームワークを理解する。

### 後期

- ・スポーツの基礎技術やルールを理解し、色々なスポーツに取り組んでもらう。
- ・ゲームを通して課題を理解し、自ら解決できる能力を身につける。

## 授業計画

- 1回 アイスブレイク、授業の目標、授業外での自習方法
- 2回 バレーボール サーブ練習
- 3回 バレーボール サーブ練習
- 4回 各個人 バレーボール トス・スパイク練習
- 5回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 6回 バスケット・バトミントン自主練習
- 7回 バスケット・バトミントン自主練習
- 8回 各個人練習試合
- 9回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 10回 スポーツ大会用練習
- 11回 スポーツ大会用練習
- 12回 期末テスト内容説明 (シャトルラン)
- 13回 期末テスト練習 (シャトルラン)
- 14回 期末テスト練習 (シャトルラン)
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験 (予備)
- 17回 各個人練習
- 18回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 19回 ドッチボール競技練習・ルール説明
- 20回 練習試合
- 21回 練習試合

- 22回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 23回 バトミントン練習
- 24回 サーブ練習・個人練習試合
- 25回 サーブ練習・個人練習試合
- 26回 2on2 対抗試合
- 27回 2on2 対抗試合
- 28回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 29回 ソフトサッカー練習
- 30回 各チーム分け練習試合
- 31回 各チーム分け練習試合
- 32回 後期期末試験 スポーツテスト説明・練習
- 33回 後期期末試験 スポーツテスト
- 34回 後期期末試験 スポーツテスト（予備）
- 35回 各個人練習試合

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

実技、テスト

きょうざい  
教材

必要に応じて参考資料を配布する。

ひょうか ほうほう  
評価の方法

しまつしけん 期末試験 80%、じょうじょう 平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

気持ちの良い挨拶、傾聴の姿勢、丁寧な言葉づかいを意識して日々の生活を送る。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 飼育用品概論 I

## (授業概要)

ペットショップ・アニマルカフェなどの施設において生体管理をする上で使用する機材また道具の基本的な使用方法を学習する。また、メーカーごとの特徴や用品のアレンジ方法なども理解する。

科	生命科学科	教員	伊勢
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

ペットショップで取り扱われていることが多い小動物の飼育方法や機材の使用方法を理解し、校内の生体管理において実践できるようにする。

### 後期

生体ごとの望ましいレイアウト方法を理解し、メーカーごとの特徴を理解する。

## 授業計画

- 1回 用品を選ぶ基準
- 2回 環境エンリッチメントについて
- 3回 小動物の特徴
- 4回 用品解説：ケージ①
- 5回 用品解説：ケージ②
- 6回 用品解説：隠れ家、寝床
- 7回 用品解説：トイレ
- 8回 用品解説：サークル、運動器具
- 9回 用品解説：遊び道具①
- 10回 用品解説：遊び道具②
- 11回 用品解説：床材
- 12回 用品解説：保冷器具
- 13回 用品解説：保温器具
- 14回 試験対策
- 15回 前期期末試験(実施)
- 16回 前期期末試験(返却・解説)
- 17回 用品解説：メンテナンス用品①
- 18回 用品解説：メンテナンス用品②
- 19回 用品解説：給水器、餌皿
- 20回 用品解説：牧草
- 21回 用品解説：フード(草食性)

22回 用品解説：フード（肉食・雑食性）

23回 用品解説：おやつ

24回 用品解説：副食①

25回 用品解説：副食②

26回 小動物の販売形態について

27回 系統とカラーについて①

28回 系統とカラーについて②

29回 系統とカラーについて③

30回 ペット保険について

31回 小動物の病気と診察

32回 試験対策

33回 後期期末試験(実施)

34回 後期期末試験(返却・解説)

35回 ペット業界が抱える課題点

#### 授業の方法

座学

#### 教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル

#### 評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

#### 授業外での学習方法

生体管理実習での生体管理

#### 実務経験と授業科目の関係

あり

# 人間形成概論

## (授業概要)

人間関係に関する基礎知識を持ち、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、生き物を扱う職務を遂行する社会人として、良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。

科	環境科学科	教員	長岡 森田
コース	スモールアニマルコース	教員の実務経験	×
対象年次	1年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

人間関係の基本となることを、グループワークや用語を知ることで学び、実際の社会生活に活かせる術を身に付けていく。

### 後期

前期に続き、社会生活に活かせる術を身に着ける。

## 授業計画

- 1回 講師の自己紹介, 生徒同士の自己紹介
- 2回 デスカッションのやり方 PREP法について
- 3回 パーソナリティについて
- 4回 対人認知 ステレオタイプ①
- 5回 対人認知 ステレオタイプ②
- 6回 人間関係とは①
- 7回 人間関係とは②
- 8回 インターネット依存症について
- 9回 感情について
- 10回 ストレスについて①
- 11回 ストレスについて②
- 12回 試験対策
- 13回 前期期末試験
- 14回 テスト返し 試験のフィードバック
- 15回 人間関係を理解する①
- 16回 人間関係を理解する②
- 17回 カウンセリング 悩み相談について①
- 18回 カウンセリング 悩み相談について②
- 19回 動機付け(モチベーション)①
- 20回 動機付け(モチベーション)②
- 21回 集団について①
- 22回 集団について②
- 23回 コーチング

- 24回 リーダシップ
- 25回 チームで仕事をする事について
- 26回 人間関係を難しくする障害
- 27回 試験対策
- 28回 後期期末試験
- 29回 後期期末試験
- 30回 テスト返し 試験のフィードバック
- 31回 前期のまとめ①
- 32回 前期のまとめ②
- 33回 後期のまとめ①
- 34回 後期のまとめ②
- 35回 社会にでることについて

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、問題についてのレポートと討論、グループワーク

きょうざい  
教材

適切な教科書がないため、授業ごとにまとめたプリントを配布する。

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

身の回りの事象が、授業内容とどのように関係しているかを意識する。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

なし